

Flash Eyes

観戦ガイド1月16日号

天皇杯・皇后杯
平成29年度
全日本卓球選手権大会
(一般・ジュニアの部)
東京体育館
平成30年1月15日(月)
～1月21日(日)



1月16日の予定

- ダブルス 1～2回戦
- 混合ダブルス 2～3回戦
- ジュニア 1～3回戦

◆ 試合速報

試合の結果速報は、大会サイトで検索することができます。下記アドレスでご確認ください。さあ、今すぐアクセス！

●全日本選手権特設サイト
<http://www.japantabletennis.com/zennihon2018/>

◆ 入場料

●アリーナ席・SS席・S席・A席が
ございます。
詳細は、下記アドレスでご確認ください。
<http://www.japantabletennis.com/zennihon2018/ticket>

◆ 東京体育館

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1
TEL 03-5474-2111
<http://www.tef.or.jp/tmg/>
●JR総武線「千駄ヶ谷駅」下車すぐ
●都営地下鉄大江戸線
「国立競技場」A4出口
●都営バス(早81)
早大正門発「渋谷駅東口行き」
「千駄ヶ谷駅前」で下車徒歩1分
●都営バス(黒77)
目黒駅発「千駄ヶ谷駅行き」
「千駄ヶ谷駅」で下車徒歩1分

全日本 堂々開幕

天皇杯皇后杯をかけた平成29年度全日本卓球選手権大会が、1月15日東京体育館で開幕した。

開会式では、星野一朗大会委員長の開会宣言、国歌斉唱、前年度王者による天皇杯皇后杯の返還に続き、藤重貞慶大会会長、三浦正英大会副会長によるあいさつ、最後に平野美宇選手が選手宣誓を行った。また、褒賞・報奨金贈呈セレモニーが行われ、アジア選手権シングルス優勝の平野美宇選手、世界選手権混合ダブルス金メダルの吉村真晴・石川佳純組らに報奨金が授与された。

大会初日の15日は、ジュニア男女と混合ダブルスの1回戦が行われた。ジュニア男子には、全日本カデットU14王者篠塚大登(ひろと)とU13王者吉山僚一が登場し、いずれも勝利をあげた。ジュニア女子では、小学5年生の篠原夢空(ゆら)が高校生から見事勝利を収めた。本日16日は男女ダブルスがスタート。女子ダブルスには中学王者の木原美悠と中学2位の長崎美柚がペアを組んで登場する。また、混合ダブルスには3連覇・4度目の優勝に挑む田添健汰・前田美優組、王座奪還を狙う世界チャンピオン吉村真晴・石川佳純組、東京五輪を見据えた新ペアで挑む張本智和・平野美宇組、森蘭政崇・伊藤美誠組、大島祐哉・早田ひな組ら豪華メンバーが発進する。ジュニアの部は男子の宇田幸矢、張本智和、女子の長崎美柚、塩見真希などシード選手が続々登場。



吉山 僚一



篠塚 大登



篠原 夢空

競技日程

● [第3日] 1月17日(水)

- シングルス 1～3回戦
- 混合ダブルス 4回戦～準々決勝
- ジュニア 4回戦～5回戦

● [第4日] 1月18日(木)

- シングルス 4回戦
- ダブルス 3～4回戦
- 混合ダブルス 準決勝～決勝
- ジュニア 準々決勝～決勝

● [第5日] 1月19日(金)

- シングルス 5～6回戦
- ダブルス 5回戦～準々決勝

● [第6日] 1月20日(土)

- シングルス 準々決勝
- ダブルス 準決勝～決勝

● [第7日] 1月21日(日)

- シングルス 準決勝～決勝
- 閉会式

開会式 PHOTO トピックス



日本卓球協会
会長 藤重貞慶

日本卓球協会
専務理事 星野一朗

東京都卓球連盟
会長 三浦正英

▼1月15日 記者会見▼

平野美宇選手

1カ月間全日本に向けて調整してきたので、いつも通りの調子です。今年は初めてチャンピオンとして臨むので、去年とは気持ちが変わりますが、優勝を目指して戦いたいです。人生の目標の一つが情熱大陸に出演することでした。情熱大陸に出演すると一流という感じがするので、密着取材をしてもらえるように全日本で頑張りたいです。

水谷隼選手

川崎の新しい練習場でしっかり調整ができました。これまでに9回優勝していますが、その中でも一番か二番の調子で、優勝する自信はあります。今回の全日本は今までと違うボールなので、その対策として、飛ばないラケットと柔らかいラバーに変えました。2020年に向けていいスタートを切りたいです。

伊藤美誠選手

グランドファイナルと選考会があって調子はいいです。選考会での優勝が自信になりました。ミックスは優勝したいです。シングルスも目標は優勝ですが、とにかく一戦、一戦、戦いたいと思います。今回の全日本は2020年に向けて大事な大会なので、頑張りたいと思います。

早田ひな選手

グランドファイナル、選考会と試合が多く、その試合の中で技術的なことを試すことができたので、すごく良かったです。シングルスで石川選手と対戦する時は、120%の力を出したいです。ミックスは強い選手と組ませていただいたので、頑張りたいと思います。

石川佳純選手

全日本に向けてピークをもってきたので、試合を楽しみにしています。ミックスは世界選手権で優勝できたので、そのまま自分たちらしい良いプレーをしたいと思います。シングルスは昨年敗れたので挑戦者という気持ちで一戦、一戦頑張りたいと思います。その敗戦の結果として逆に大きく成長することができたと思います。練習の質を高く保つことと、トレーニングを欠かさないと意識して取り組んできた一年でした。



選手宣誓

